



## 美郷町都市農村交流事業

### ごはんの教室&農業体験のすすめ

5月9日と10日に東京都大田区で「ごはんの教室&農業体験のすすめ」が開催され、2日間で46名が参加しました。

教室では、秋田県五つ星お米マイスター・篠木郁子さんがごはんの持つ力とおいしいごはんの炊き方を説明。美郷町都市農村交流推進協議会の吉方和衛会長は、グリーンツーリズムや農業体験ツアー、美郷町オーナー制度の紹介などを行いました。

ふっくらと炊きあがった美郷町産の特別栽培米あきたこまちに、参加者からは「家のごはんとは全然違う」という驚きの声が上がリ、ごはんと一緒に美郷町産のしいたけや漬物を頼るなど、美郷の味を堪能していました。

### 親子で楽しく汗を流しました 六郷小学校・ 仙南小学校で運動会

5月10日と11日に六郷小学校と仙南小学校で運動会が開催されました。短距離走や綱引きのほか、趣向を凝らした親子参加競技などが行われ、みんなで楽しく汗を流しました。

千畑小学校の運動会は秋に開催される予定です。



◀六郷小学校 ▲仙南小学校

### 4トン車で約4台分が集まりました 古着・古布回収

町内の「もやせるごみ」の量の削減を目的として、5月11日に古着・古布回収を実施しました。多くの皆さまのご協力ももちまして、4トン車で約4台分の古着・古布を回収することができました。回収した古着・古布は国内外で幅広くリサイクルされます。

次回の回収は11月を予定していますので、引き続きご協力をお願いします。



### お稚児さん きれいな着物姿で練り歩き 六郷仏教会の花まつり

5月18日に六郷仏教会（高柳信会長）主催の花まつりが行われ、ピンクや緑の色鮮やかな衣装に身を包んだ約40名の子どもたちが市場通り商店街などを練り歩きました。花まつりはお釈迦様の生誕を祝う行事で、六郷仏教会の花まつりは50年以上の歴史があります。沿道にはたくさんのお見物客が出迎え、かわいらしい子どもたちの姿に笑顔で手を振っていました。

高柳真乗寺では灌仏会法要が執り行われ、お釈迦様が誕生した際に天から甘露が降り注いだという言い伝えをもとに、子どもたちはお釈迦様の立像に甘茶を掛けました。高柳会長は「人間は、一人ひとりが誰とも代わることができない尊い存在。今後、子育て等で悩んだときは、自分の子どもが生まれてきたときの喜びを思い出して、今日の行事のように親子で手を携え頑張ってください」と参加者に呼び掛けました。



# 第5回 町議会 臨時 議会

平成26年第5回町議会臨時議会が5月13日に開かれました。審議された議案は次のとおりです。

## 報告・承認・可決された案件

### ■専決処分事項の報告について（6件）

### ■専決処分事項の承認を求めることについて（3件）

- ・ 美郷町税条例の一部を改正する条例
- ・ 美郷町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・ 平成25年度美郷町一般会計補正予算第13号

### ■財産の取得について（2件）

### ■工事請負契約の締結について（2件）

美郷町宿泊交流施設機械設備工事および美郷町宿泊交流施設電気設備工事の請負契約について議決を求め、可決されました。

### ■平成26年度美郷町一般会計補正予算第2号

雪害により損壊した公共施設の修繕に要する経費の追加や、関連する施設の保険金受入金の増額など、歳入歳出予算の総額を111億1210万3千円としました。

### ■平成26年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第1号

### ■平成26年度美郷町後期高齢者医療特別会計補正予算第1号

## 水の恋人



七滝土地改良区を受賞報告を受ける松田町長（写真左）

美郷町長 松田知己

# 風

の源流の山林に落葉広葉樹を植樹しようという運動です。事象の原因を分析し、事柄の関連性を整理した取り組みですが、うまくフレーズをピックアップしたものです。

さて、先日、七滝土地改良区が平成26年度緑化推進運動功勞者として栄えある内閣総理大臣表彰を受賞しました。七滝土地改良区の水涵養林を通じた一連の取り組みが高く評価された結果です。誠におめでたく、美郷町の立場としても大変に嬉しく思います。何故なら、その評価に町の取り組みの七滝「水の森」植樹事業も含めていただいているからです。生活用水の約9割を地下水に頼っている町において、まさに「森は水の恋人」なのです。この度の受賞を

契機に、改めて皆さんでその認識を深めたいと思います。

そうした認識の範疇で、町では今年、新たな取り組みに着手します。七滝の水涵養林に加え、新たに未利用の町有林地にも落葉広葉樹を植樹していきます。樹種は生薬原料にもなるホオノキが基本です。豊かな水環境の醸成に寄与しながら、林業資源も育む一石二鳥を狙います。そしてその狙いを確かにするため、今月中旬、生薬原料としてホオノキを利用して製薬会社と連携合意書を取り交わします。ちなみにその植樹は7月上旬、NPO法人「みさぽーと」がリードしてくれますので、森と水の恋人関係をみなさんと深めてもらうよう、ご参加のほどよろしく願っています。

しかし、「恋人」という言葉の響き、いいですね。日本酒での乾杯を推進する条例を制定した町としては、「日本酒は明日の活力の恋人」というフレーズも作ってみたい気分です。